

CCAとは？

コールドクランキングアンペアーの略で、鉛バッテリーが持つ固有の「性能基準値」です。
エンジン始動性能を表す尺度で、 $-18^{\circ}\text{C}\pm 1^{\circ}\text{C}$ の温度で放電し、
30秒目電圧が7.2V以上となるように定められた放電電流(A)アンペアーのこと
CCA値が大きいほど始動性能が高い(エンジンがかかりやすい)ことを示します。

CCAでバッテリー診断をする利点

- ① **バッテリーの突然死を回避できる。**
- ② 見せかけの電圧に左右されない為、正確な測定ができる
- ③ バッテリーに大きな負荷を与えない。
- ④ テスターが熱を持たない(負荷が小さい)。
- ⑤ 電気伝導による診断のため、サルフェーションなどによる劣化を確実に判断できる。
(劣化により電気抵抗が増えるため)

今までのバッテリーテスターの欠点

現在の国内のバッテリーテスターはロードテスターによる測定が主流です。
これはテストするバッテリーに大量の電流を与え、
放電した後の電圧を測定する方法です。

- ① 測定時の状態で測定結果にバラつきがある。
- ② 大電流を流すためバッテリーの負荷が大きい
- ③ 劣化したバッテリーでも走行中、発電機により充電された直後に
テストをして「良好」と診断される場合がある



サルフェーションとは・・・

バッテリーの極板に硫酸鉛が固着して、充電しても科学反応をしなくなり、電圧が回復しない状態。

*サルフェーションの初期段階ではRPC-12
(バッテリー再生充電器) 充電すると効果的です。

注意：ハイブリット車のバッテリーには対応しておりません。